

2023年12月4日

1 2024年3月期中間期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月中間期	61,759	5,234	5,497	3,500

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月中間期	149,146	88,139	56.8

（注）連結子会社は18社

2 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	127,000	0.3	10,800	△9.5	11,000	△11.5	7,200	△11.4

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、社会経済活動の正常化が進み、個人消費やインバウンド需要の回復等により、緩やかな持ち直しが見られますが、資源・エネルギーの高騰による物価上昇や急速に進んだ円安等により、依然先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属する建設業界におきましては、公共投資、民間建設投資ともに堅調に推移しているものの、鋼材価格や燃料費が高止まりしていることもあり、収益面では厳しい状況が続いています。

こうした中、当社グループは各事業領域における競争優位の維持・強化に努め、社員の成長やダイバーシティの促進といった人材戦略にも注力してまいりました。その結果、中間連結会計期間の連結業績は、売上高617億59百万円、営業利益52億34百万円、経常利益54億97百万円、親会社株主に帰属する中間純利益35億円となりました。

当下半期の見通しとしましては、引き続き建設投資は堅調に推移するものと想定しており、売上高1,270億円、営業利益108億円、経常利益110億円、親会社株式に帰属する当期純利益72億円を見込んでおります。

以上